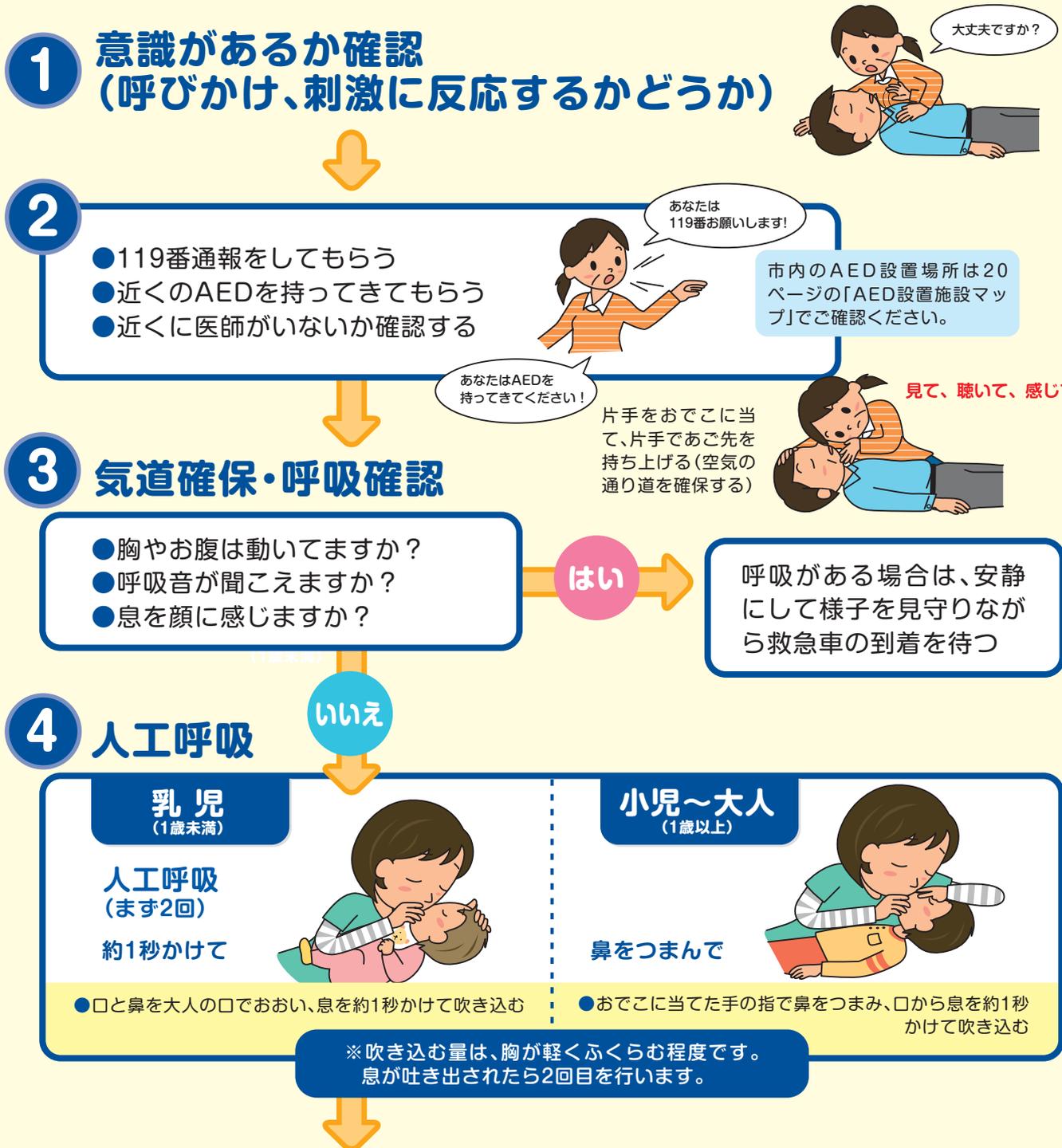


7. 応急手当の仕方

突然、心臓が停止した人を救うためには、その場に居合わせた人の手で、速やかに人工呼吸や心臓マッサージ、AED(自動体外式除細動器)を使用するなど、人命救助を行うことが重要です。この勇気ある行動で、救命率はかなり高くなります。

ここでは、救急車が到着するまでの応急手当について分かりやすく解説しましたので、いざというときのために、あわてず行動できるよう理解しておくといよいでしょう。



5 心臓マッサージと人工呼吸

心臓マッサージの仕方	乳児 (1歳未満)	1～8歳未満	8歳以上
	心臓マッサージ 30回 人工呼吸 2回	心臓マッサージ 30回 人工呼吸 2回	心臓マッサージ 30回 人工呼吸 2回
	●乳首を結んだ線の中央から足側に向けて人差し指～薬指を並べる。中指・薬指で胸の厚さの1/3程度くぼむまで圧迫する。	●乳首を結んだ線の中央に片手をおき、手のひらの付け根で胸の厚さの1/3程度くぼむまで圧迫する。	●乳首を結んだ線の中央に両手をおき、手のひらの付け根を重ね、胸が4～5cm程度くぼむまで圧迫する。
	<ol style="list-style-type: none"> 1分間に100回のペースで心臓マッサージを30回行う。 人工呼吸を前ページ④の要領で2回行う。 ①、②を交互に繰り返す。 		

AED到着

- 救助者が2人いる場合は、2分を目安に心臓マッサージと人工呼吸を交代します。
- AEDが到着しても、電極パッドを貼る直前まで続けます。

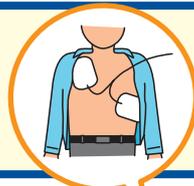
6 AEDの電源を入れる

- 小児(1歳以上8歳未満)は、小児用パッドを使用してください。もし、なければ成人用パッドを使用してください。
- ※1歳未満の乳児は、AEDの使用が推奨されていません。



7 電極パッドを胸に貼る

- 電気ショックが必要か解析を行います。
- ショックが不要の場合は「ショックは不要」とメッセージが流れます。



突然、心臓が停止した場合は、できるだけ早く心臓に電気ショックを与え、心臓の動きを取り戻す必要があります。AEDは、この電気ショックを行うための機器です。AEDは、音声メッセージで操作を指示してくれるので、一般の人でも簡単に操作できます。

8 AEDが電気ショックを必要と判断したら ショックボタンを押す

- 誰も体に触れていないことを確認します。
- AEDの指示に従い、ショックボタンを押します。
- 必要であれば救急隊が来るまで、心臓マッサージと人工呼吸を続けます。

